



Y's Men's World



2013-2014年度 第1号 ワイズメンズクラブ国際協会公式誌

国際会長のメッセージ



ポウル・トムセン 2013/14 国際会長

私のアイデアと夢の一端を皆様と分かち合いたいと思います。

会社の運営指揮から私が学んだのは、簡潔明瞭ではっきりしたメッセージを発することです。今後も私のスピーチや文章はこの考えに基づいて発表します。多言より実行です。

まず私たちは新しい才能を探し出さなければなりません。国際ワイズ運動発展のために、新しい指導者を発掘し、新しい機会を作ることが何より重要です。

一にも二にもエクステンション（新クラブ増設）

エクステンションは運動の伸張と新たな発展の基礎となるものです。その副産物として国際協会の予算はより収支均衡したものになります。しかし、エクステンションは困難だと感じるワイズメンも多いことでしょう。私は自分の経験から、エクステンションは最初こそ難しいが、これは継続と前進で解決すべき問題だと断言します。私自身、この精神で6つの国にワイズメンズクラブを設立してきました。国際のYES事業からの資金で更なるクラブ増強の機会が得られることでしょう。どのエリアでもその実施が望まれます。

YMCAとの協力

YMCAは私たちワイズの最良のパートナーです。この協力関係をもっと強めていきましょう。世界中で、次々と新クラブ設立がYMCAとの協力のもとに実行されています。YMCAの皆様に感謝申し上げる次第です。YMCAとの協働により、全世界の何百万の青年に大きな変革を起こすことができます。現在進行中の「眠れる巨人を目覚ませる」キャンペーン（後出の記事参照）でチェンジエージェントを支援することなどにより、世界YMCA同盟との車の両輪関係を進めましょう。

ビジョン2022

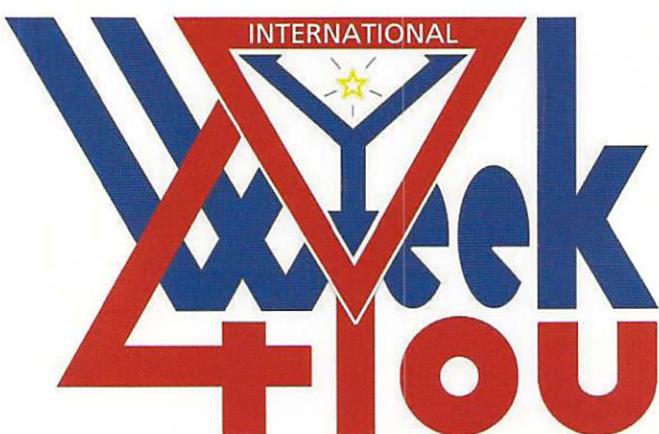
国際ワイズ百周年の2022年に向けて、2022行動計画の実行を誠実に進める決意です。ビジョン2022の目標は、2022年までにワイズの存在を100カ国に、会員を5万人に増強することです。

国連諮問機関としての地位

国連及び国際赤十字・赤新月連盟との協同によって、ワイズはロールバックマラリアの運動に参加する機会を得ることができ、NGOとして国際社会に認識されるようになりました。

Week4You

私は2014年1月第4週をWeek4Youと名付け、世界大の推進週間とすることを提唱しています。その内容は次の3点です。



1. ワイズ運動が各クラブの地元社会でもっと知名度を高めること
2. 自クラブにより多くの会員を惹きつけること
3. できればワイズが仕掛け人となって、地域にNGOのネットワークを作り出すこと

詳しくは、国際協会のウェブサイト www.ysmen.org をご覧ください。

結びに、私の主題 “Go Ye into All the World”（全ての世界に出て行こう）を掲げ、ご挨拶とします。

国際書記長便り



国際書記長 西村隆夫

友人の皆様

マニラで開催された今年の理事会は、極めて精力的に業務を遂行していくつかの困難な決定を行い、また、多くの重要案件を可決いたしました。

そのうちの一つに、残念なことに我々の国際憲法へ追記されることになった「ガイドライン308」があります。

国際憲法の第2条にある、我々の運動の「綱領と目的」を考慮すると、私たちの活動がイエスキリストの教えに根差していることは明らかです。これらの教えを受けるということは、クラブメンバーがその教えを知り、キリストの言葉を行動に取り入れる決意をするということです。

もし、我々全てがこのことを理解していれば、我々の運動を守るためにかかるガイドラインは不必要なはずです。

神の祝福を、Nish

《ガイドライン308》

協会の主義ならびに目標に対して意図的に反する行為を行った加盟クラブのメンバーは、国際役員ならびに国際書記長による当該者に対する、直接あるいは電子媒体を通じての慎重なる事情聴取により、その不始末の重要度に鑑みて1年から10年間、選出、指名、推薦の如何にかかわらず協会の役職から除外される。

71st Y's Men International Convention
IC 2014 Chennai [Madras]
07 - 10 August, 2014

第71回ワイスメンズクラブ国際大会
IC2014 チェンナイ(マドラス)
2014年8月7日~10日
2014年国際大会(インド)のスローガンは
"Let Us Lead"
詳細は大会ホームページをご覧ください。
< www.ic2014.org >

全ての世界に出て行こう

国際会費の一様化は 2016年から

国際会計 エリック・ブリュウム



マニラで開催された2013年度国際理事会において、Y's国際協会の全てのメンバーは、2016年7月1日以降、国際会費を100%支払うことを決定しました。これは、実質的に、国際レベルでは、これまで言われてきた「特別会費」や「ユースメンバー」といったものがありえないことを意味します。

もし何らかの理由により、地域、区、クラブにおいて、会費の減額を図ろうとした場合、クラブ会費、区費、部費の減額は可能ですが、国際会費の減額はできません。また同時に、加盟クラブの創設時メンバーは、現在35イスラムの国際会費を100%支払わなければなりません。2016年7月1日以降、国際Y'sメン協会の会員であるということは、国際会費を100%支払っていることを意味します。

これは、ここ3~4年の間に、約55万イスラム(60万USドル)の損失が確認されたことによるもので、私たちの資産額は大幅に減少し、現在ほとんどゼロとなっています。

この損失の主な理由の一つにあげられるのが、近年、我々は「届け出」と「支払い」会員数で運営してきたことです。予算的には、我々は、届け出会員(数)で計算し記述して参りましたが、実際は支払会員数で記録することしかできません。この2つのカテゴリー間の差が極めて大きいことがこの不足をもたらしたのです。

それにより、理事会ではまた、将来的には支払メンバー数のみで記録し予算化することにも決定しました。

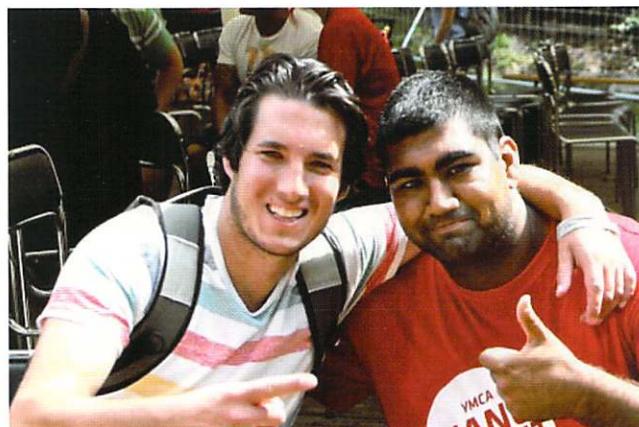
国際会費に関する変更は、2016年までに漸次導入されます。なお、増加予定表は国際ホームページでご覧になれます。

チェインジ・エイジェント —— ユース・エンパワメント活動中

セルマ A ザイディ(世界YMCA同盟組織開発・資源動員上級執行役員)

世界同盟が「眠っている巨人を目覚めさせよう」と努力しているので、チェインジ・エイジェントという言葉は今後皆様がしばしば出会うことになる言葉です。チェインジ・エイジェントとはどんな人で、何をしているのでしょうか?世界同盟のセルマ・A. ザイディが私達に更に多くを語って下さいます。

YMCAは、世界で11,200以上のコミュニティーと、119ヶ国に大きな力と関連性とを築き上げてきました。もっと沢山の事が出来ると信じています。世界のYMCAは、社会的変革の世界的改革予定表に組織を挙げて焦点を合わせています——その変化とは青年たちにより大きな権限を与えるということです。YMCAは、今チェインジ・エイジェントとして訓練を受け、動員されている青年リーダーを72か国で270名確認しています。(男性 43%、女性 57%)。



YMCA Youth Empowerment in Action(略称: YEA)が組織改革の第一歩です。我々は世界中で青年に権限を与え、強い共同体を作り上げるために、世界中でYMCAのすべての能力を強化しています。全世界のYMCAはチェインジ・エイジェント諸君の支援に専念しています。

ワイズメンズクラブ国際協会はこのプロジェクトで世界YMCA同盟のパートナーとなっています。そのパートナーシップを通じてチェインジ・エイジェントを支援する助成金が献金されたり、約束がされたりしています。

財政概観

チェインジ・エイジェントのプログラム参加費用は、それぞれ3,500ドルです。3,500ドルは、2013年8月のプラハ・フェスティバルと2014年6月~7月の世界会議に彼らがリーダーシップとトレーニングを受ける費用を賄います。我々は、各地のYMCAの国際YMCA運動の内部、国内の運動、さらにワイズメンズのような協力団体から資金を集めています。

さらに、各地域で地域レベルのチェインジ・エイジェント養成の財政支援をしてきました。

国内運動、各地のYMCAとワイズメンズ・クラブが、援助を必要としている人たちに世界的な財政的支援を提供することによって、チェインジ・エイジェントのスポンサーとなったり、支援をしたりしています。



チェインジ・エージェントの役割は何か?

- ・自ら変化を

チェインジ・エイジェントは、行動するユース・エンパワメントとなるでしょう。

チェインジ・エイジェントのなすべき責務は:

全体状況を見る: チェインジ・エイジェントは広い視野を持ち、全世界の青年の現実を理解し、青年に力を与える運動としてのYMCAの歴史を知ることでしょう。

新しい自己認識を手に入れよう

チェインジ・エイジェントは指導者としての自分の主体性を開発し、能力を認識し、変化を起こさせるための自らの能力を開発します。

変化のモデルを学ぼう

チェインジ・エイジェントはユース・エンパワーメント・チェインジ・モデルについて知っています。ユースに権限を委ねるのが YMCA の DNA です。SPACE/TRANSFORMATION/IMPACT が変化を起こさせる効果的な枠組みを提供します。

変化の経過を実践しよう

チェインジ・エイジェントは YMCA 運動の闘士となるでしょう。

他のチェインジ・エイジェントとのネットワークと協働作業を通じて協働行動の力を示しましょう。

ビジョンを伝え合おう

チェインジエイジェントは、ユース・エンパワーメンの為に、そしてそれを推進するためにビジョンを理解し合います。

学びそして共有しよう

チェインジ・エイジェントは、すべての人が自らが関わっている動きについて知るのを助け、ユース・エンパワーメント・イン・アクションのビジョンを広めます。

他の人を助けよう

チェインジ・エイジェントは今までの学習経験を再現し、他の YMCA 指導者が同じような経験を通して利益を得るのを助けます。対話と内省のための場と機会を創ります。

共に力を合わせて働く

チェインジ・エイジェントは他のチェインジ・エイジェントと共同してユース・エンパワーメント・イン・アクションのビジョンを伝達し合い、それに基づいて行動します。

声を上げよう

チェインジ・エイジェントは若者とより良い世界を創ろうという青年の情熱を代弁します。YMCA 運動の内外でユース・エンパワーメンの主唱者となります。

行動を鼓舞しよう

チェインジ・エイジェントは他の人に影響を与え、ユース・エンパワーメントを前進させます。

全ての世界に出て行こう



運動を結合しよう

チェインジ・エイジェントは YMCA 会員に目的を共有し協働して行動することが利益になるということを理解するのを助けています。チェインジ・エイジェントは個々にばらばらの努力を超えて、青年に力を与える団体行動を行うことを鼓舞します。

世界に広がろう

チェインジ・エイジェントは YMCA 運動が運動としての我々の団結した力を示す世界的プロジェクトに関わることを助けています。例: YMCA 世界協議会、One Million Voices Research, Global Advocacy efforts など。

成果

YMCA 内部に、世界的組織変革過程に影響を与える事が出来る意思決定者、指導者として 270 人の多数のチェインジ・エイジェントが生まれたこと。

社会の変化と組織の変革のために動員されたチェインジ・エイジェント達のネットワークが確立されたこと。

日本語版への注:

- ▶ Youth Empowerment と Change Agent ともに YMCA が現在積極的に取り組んでいる運動名です。
- ともに日本語に訳さず英語のカタカナ表記で使用しています。
- ▶ ユース・エンパワーメント: ユースを意思決定のプロセスに取り込み、地位を向上すること。また、未来の YMCA や、国際社会を、その担い手として、ユースの手に委ねること。
- ▶ チェインジ・エイジェント: 直訳すれば「変革担当員」とでもなるでしょうか。各国 YMCA のユース代表です。今後の YMCA や世界の担い手となることが期待されています。日本でも 3 名のエイジェントがいます。ご支援下さい。

二酸化素相殺プロジェクト 2013/2014

コリン・ランビー
環境委員会委員長

ワイズメンズクラブ国際協会はワイズのリーダー各地訪問の為の旅行で使っている温室ガス排出量を相殺しています。予算は年間 15,000 スイスフランです。炭素排出量を減らすために最大 5 つまでのプロジェクトに資金が提供されています。以下のプロジェクトは、2013 年の国際議会で承認されたものです。温室効果ガスの必要相殺量を達成するために今年はより多くのプロジェクトに支援金を用意しています。

1. 食品廃棄物処理改善プロジェクト

スリランカ、モラツワの家族にコンポスト・ゴミ箱を配布

モロツワYMCAは 60 世帯にコンポスト・ゴミ箱を配布し、使用を奨励しています。コンポスト・ゴミ箱を使うと食品廃棄物がごみ埋め立て地に送られなくなります。食品廃棄物はメタンガスを発生させるので、これは重要なことです。メタンガスは温室ガスとして重大な影響力を持っています。今後 10 年間で、メタン排出量の削減は 220 トンになると予想されています。

2. 「チャングライ YMCA 電力節減」

—タイ、チャングライ YMCA の照明設備をより効率的なものに格上げする。

このプロジェクトは旧式の非効率的な T 8 蛍光灯 469 本をよりエネルギー効率のよい T 5 型に取り替えます。電力の節約によるカーボン削減量は 1 年あたりおよそ 16 トンです。ですから、10 年で削減額はおよそ 160 トンになります。

3. 「太陽エネルギー」

—バングラデイッシュの一 YMCA のための光起電設備

このプロジェクトはバングラデイッシュの YMCA の電池蓄電装置を備えた小型太陽発電装置のためのものです。このプロジェクトによる排気ガス削減量は微々たるものですが、このプロジェクトは主として教育的な実践です。

ワイズメンズクラブ国際協会の削減義務を満たすために、今年はより多くのプロジェクトの応募が求められています。資金の応募についての情報は www.ysmen.org から入って「環境リンク」でご覧になるか、または <colinlambie@ysmen.org.au> に E メールしてください。

レッツゴー グリーン

アルビン・カン
香港 チム・シャ・ツイ・ワイズメンズクラブ

香港に住んでいる子供たちは自然に触れる機会がほとんどありません。

香港チム・シャ・ツイ・ワイズメンズクラブは、ワイズメンの精神を広めるために、毎年いくつかの社会奉仕プロジェクトを主催しています。その中の一つに、40 人の子供とその親のための有機農場訪問があります。

参加者はみな町から離れて農場の味を満喫し、環境保護に関して勉強しました。

これからも、我がクラブはこの Go Green のような社会貢献プロジェクトを続けていきたいと思っています。



エネルギー節約は増加、 カーボンガスは減少

コリン・ランビー 環境委員長

表紙関連記事

オーストラリアのギーロンYサービスクラブは、旧式の400ワットの水銀灯を、最新式の100ワットのLEDライトに交換するための資金、1,200豪ドル(1,100米ドル)を集めました。ギーロンYMCAは、これによって実質的な電力消費を抑え、電気料金を節約する事が出来ました。炭酸ガスの排出量も削減した事になります。



ギーロンクラブ会長のジャリッド・デビア
と新LEDライトを取り付けた電気技師

年間の電力消費は21,000キロワット減少し、キロワット当たり0.20豪ドルとして、年間4,200豪ドルの節約になります。YMCAは、将来にわたって、3年毎に、新しいLEDライトの資金を蓄える事が出来ます。YMCAのカーボンガス削減量は年間21トンで、これは年間92,000キロの飛行に相当します。

国際協会は、リーダー達が会議や大会に参加する際の飛行によるカーボンガス排出量を相殺するファンドを創設しました。このファンドは、上記のように、ワイズメンズクラブやYMCAのカーボンガス排出量を削減するプロジェクトのために用いられます。

ギーロンYサービスクラブは、このファンドの最初の受領者となり、YMCAのキャンプ場のヒーターのタイマースイッチの設置に用いられました。

台湾における水難事故防止 のサポート

ペイ・カン・ワン 台北 A-list ワイズメンズ・クラブ

台北区北部は、パンサー川、ナンシー川、ペイシー川における水難事故防止部隊と水難防止訓練をサポートしています。毎年、33,600本の飲料水を部隊に提供しています。



TOFグローバルプロジェクト基金活動から、約700米ドルがこのプロジェクトのために集められました。私達は、熱心な企業から大きな援助を受け、力づけられています。

地域の赤十字とも協力して、我々はさらなる資金集めをはかり、2隻のゴム製救助ボートと2台の船外エンジンを2013/2014年に、救助部隊に贈る事にしています。



昨年のパンサー川での一連の行事には2万5千人が参加しました。スマーリング・エンジェル、ストリートダンサーズ、路上バザーなども含めたこれらの活動によって、ワイズメンのイメージが、地元のメディアや地域の人々により良く知られ、それによって、新しい、若い人々が我々に加わってくれること、そしてこのプロジェクトが引き続きより多くの人々にとって有益である事を願っています。

ウラオーラ・デイ祭り

アフリカ副編集長 ツンジ・マキンデ

ワラオーラ・デイ祭は1994年以来、毎年5月1日に行われている資金集めのイベントです。これはクラブの時の砂の上に大きな足跡を残した献身的なクラブ会員ワラオーラ・デラノ女史を称え、記念するものです。毎年、時事的なまた社会的な事柄に焦点を当てて行います。

イケヤ、バリガおよびイコイ周辺の中学校から300名以上の先生、生徒を集め、2013年のワラオーラ・デイ祭は「輸血」と「ロールバック・マラリア」に焦点を当てて行われました。

二人のゲスト講師が、人の命を救うための献血の重要性と吸血蚊生息地域を根絶するために清潔で健康的な環境の維持について聴衆に講演しました。防虫処理を施した蚊帳の使用がいずれ最終的に「マラリアを巻き込んで退治する」ための必要不可欠な手段と考えられています。

今年の5月1日、篠突く雨をものともせず、学生の大群は大雨の中を音楽を伴奏する楽隊とともにYMCAから行進したのでした。学生たちは「輸血…君の役割は?」と「対マラリア戦争…君の役割を果たせ!」と書かれたTシャツを着こんでいました。本当に見るも美しい眺



めでした。

ロゴスの YMCA のロムニー・ホールの催しの呼び物は、様々なイベントや参加学生やゲストによるタレント・ショーでした。その中には、パントマイム、舞踊劇、寸劇、喜劇、ダンス・コンペティションなどが含まれていました。

ウラオーラ祭りで得たお金は、タイム・オブ・ファースト・グローバル・プロジェクト・ファンドばかりでなく地元の慈善団体にも贈られました。

一味違ったワーク・セッション

シルビア・レイエス・クロシ
ラテンアメリカ地域 LT 事業主任

チリで行われた第11回ラテンアメリカ地域大会のプログラムにはいくつかの驚きがありました。その一つはワーク・セッション、しかも浜辺でのワーク・セッションでした。

太平洋岸の美しいビニヤ・デル・マールにあるという大会場の地の利を活かし、チーム・ワーク部会は海辺へと移動しました。裸足になって、しっかりと両足を踏みしめて、出席者たちは、目をつぶってでも、一人で立ち、仲間に向かって手探りで進んでゆき、選んだチームを信頼するすべを学んだのでした。(ラテン・アメリカ地域会長クリスチャン・アランシーバが自信に満ちた態度で目をつぶり完全にチームの仲間に頼り切って模範を示してくれました。)そして個人の行動が潜在的にチームの行動によって育てられるということも学んだのでした。

座ってばかりの会議には嬉しい気分転換で、また容易に忘れることが出来ない実地教育でした。



あなたのクラブを 特別なものにするのは何?

デビー・レドモンド アメリカ地域会長

最近、非営利団体の会合に出席しました。講演者がある団体が資金協力者の注意をひきつけるために何が必要かについて話していました。「皆さんのクラブは目指すべき北極星を持っていますか?」彼女はさらに続けて「もし空が星で一杯なら、あなたを目立たせているのは何でしょう?」と言いました。それは新しいボランティアや会員を獲得するだけでなく、資金を得るためにも当てはまることがあります。

講演者の言う通りです。まわりに沢山の団体がある時代においては、(アメリカだけでも 230,000 以上の非営利団体があります、我々は誰か(会員になってくれそうな人)の注目を引き付け、我々の活動に関わりたいと思わせるためには何かを身に着けることが出来なければいけません。クラブのレベルで言うなら、あなたのクラブを今日あらしめている一番大事なものは何ですか?それは、資金獲得プロジェクトですか、地域奉仕事業ですか、奨学金プログラムですか、それとも YMCA との関わりですか?

クラブはそれぞれ違います。どのクラブでも使用出来るクッキーの型抜きみたいな便利なプロジェクトなんてありません。私たちは私たちワイズのプロジェクトをなにかするように皆さんに勧めています—例えば、グローバル・プロジェクトファンド、エンダウメントファンド(ゴールデン・ブック)、プラザーフッド・ファンド、そしてロールバック・マラリアのような。しかし、これは全体像のほんの一部に過ぎません。それは我々のアイデンティティの一部に過ぎず、個々のクラブとしての我々を明確に示すものではありません。

世代によってそれぞれ関心の向かうところ、つまり北極星も違います。ある世代の人々の関心を捉えるものが必ずしも別の世代の人々を魅惑するとは限りません。我々は世代の欲求や必要に目を向け、彼らの注目を集めるように私たちの焦点を提示しなければなりません。会員を入れさせることは出来るのはたった一人しかいないというクラブもあれば、ある世代の社会的良心をめざめさせるのはクラブが行っている特定のプロジェクトであるというクラブもあります。もし、あなたのクラブとプロジェクトを売り込むために3分間与えられたとすれば、あなたはうまく売り込

めますか?あなたはクラブとワイズメンズクラブ国際協会を全体として世界的な良心的な奉仕志向の人々の一團として売り込むことが出来ますか?

私達のクラブは 1978 年以来年に一度資金獲得イベントを行ってきました。YMCA の体育館での書籍販売として始まったイベントは今ではとても大きく多岐にわたるものになりました。ある会員にとってはその書籍市がクラブに入会した理由です。しかし、たった一つの、人気のあるプロジェクトに専念する代わりにクラブに献身するようにさせるには一生懸命に努力し続けなければなりません。

小さな包みが大きな笑顔を

スリ・ラム・レッチマナン (イポー・クラブ)

マレーシアのイポー・ワイズメンズクラブは「よき羊飼い幼稚園」への訪問で喜びと笑いをもたらしました。会員、親戚の人々、友人、コメットが子供たち一人一人に食べ物と飲み物を包んで配りました。

この訪問はペラック州内外で地域社会の向上のために慈善事業を行うプログラムの一部です。些少の金額も管理人に贈られました。



ロールバック・マラリア (RBM) 基金、トーゴのギャップを埋める

ジェームス・オーレ 国際事業主任

RBM 基金の第2回目の寄付金が、国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) に交付され (YMW2012/13 第2号参照)、トーゴの生命を救う蚊帳の配布活動に活用された。

トーゴ赤十字社は、2004年から蚊帳の大量配布及び配布後の蚊帳を「つるす／保持する」活動をしてきた。長期殺虫効果付き蚊帳 (LLIN) を全般的に配布する全国統一キャンペーンが2011年に実施された。



トーゴにはいわゆる「ネット・ギャップ」(蚊帳の配布の地域格差) が存在し、そのため、ロメやゴルフェの都市部分及び都市近郊の地域が配布地域からはずれていた。2011年のグローバル基金から支給された運営費の残金が、2012年末にゴルフェの該当地区に配布するのに必要な蚊帳を調達するために使われた。しかし、ロメ・コミューン

(合計で5つの地域が存在) に蚊帳をまんべんなく配布し、全戸配布キャンペーンを完結するには、さらに506,100枚の蚊帳が不足していた。IFRCは、マラリア予防同盟とのパートナーシップを通して、ロメにおけるギャップを埋めるに足る蚊帳の手配ができないか、可能性を検討した。

その結果、IFRCは、ノルウェー赤十字社、国連基金、ワイスメン国際協会の協力で195,000枚のLLINを確保した。さらにユニセフが、合計312,061枚のLLINを調達した。

さらに、ロメにおける蚊帳全戸配布計画を、ユニセフが実施している全国はしか予防接種キャンペーンと統合することが決定された。このはしか予防接種キャンペーンには、5歳以下の子どもたちへのアルベンダゾール (包虫駆除薬) の投与も含まれている。蚊帳を配ることが、母親に、行って子どもたちに予防接種を受けさせようという、さらなる動機づけになるとみな

されたのである。これにより、都市部での予防摂取率の増加が期待されている。

平和とは何か？

アン・マリー・ヘルツ・ジェンセン
キリスト教強調国際事業主任

イギリス・バースで開かれたヨーロッパ地区大会のテーマは「平和」であった。では平和とは何か？

心の平和、精神の平和、家族の平和、隣人との平和、友人同士の平和、仕事の平和、都市の平和、国の平和、国家間の平和、そして世界の平和。

ヨーロッパ YMCA の若い人々の多くは、隣人同士が敵として暮らしている最も困難な地域のいくつかを対象として、その地域の若者同士の平和を促進しようと事業を進めている。彼らは、人類すべてにとってよりよい世界をつくために平和を共有しようとしている。彼らは、平和を共有することによって敵を友人に変え、民主主義を実現することができると信じている。YMCAを支援し、われわれも同じように行動しよう。

さらに、バースで言われたことは、平和に関する行動には3つの継続的な形があるということだ。つまり、平和の構築、平和の創造、そして平和の維持である。

- ・ 平和の構築は、対立の根源に対して対処をし、公平な世界を築くこと
- ・ 平和の創造は、対立のある時に、交渉、仲介、和解をすること
- ・ 平和の維持は、行動すること、暴力が及ぼす被害を最小限に抑えようと介入すること、外交や人道的な支援の余地を作り出すことを支援すること

さあ、あなたも笑顔で行動を開始してください。ほほえみのない人を見かけたら、是非あなたの笑顔をその方に差し上げてください。

協力のお手本を見聞しました

イオン・スター^テ
コンスタンタクラブ(ルーマニア)

私の最初のデンマーク訪問から何年も経ちましたが、私の旅の記憶は昨日のように新鮮です。美しい景色や特別な人々との出会いが私の心に残っているからです。招かれたデンマーク区大会開催の数日前に、私はランダースクラブにお邪魔して、市当局と同クラブ及び地域社会の協力の模様を体験することができました。

その3日のこと、市郊外の、もとゴミ埋立地がリサイクリングセンターになった所を訪れました。それだけなら珍しくないことですが、このランダースでは、リカバリーセンターもあるのです。そこでは種々の物資を改修再生し、それを特約の店で販売して、収益はチャリティーに寄付します。人々が自分には不要の物を持参し、恵まれない人たちのために役立てるのを見て深い印象を受けました。

このセンターの主目的は障害者の支援にあり、全作業は2人の職員と35

から40人のボランティア(多くは定年後の人)によってなされています。家具、家電製品、陶器類等の改修・再利用です。センター外でも、別のチームが電話応対して市内に出かけ、再生可能な物は作業に回し、不可能な物は埋立地に運ぶ手伝いをします。リサイクリングセンターのほうも失業者に就労の機会を与えます。



市は彼らに週5から10時間の勤務手当を払います。

その日の午後ランダースの静かな街路に戻ると、ビル群がまるで有史以来建っていて、全世界がここを中心になされたかのような姿を見せていました。「青い雨傘」という店に到着、入るとすぐ、帰宅したような安らぎを感じます。この店はいわゆる「社交カフェ」で、独居の人や家族を亡くした人が寂しさを紛らわす場所なのです。市当局も関わっています。従業員5人(うち3人はパート)とボランティア25人が働いていて、ボランティアの何人かは障害をうまく克服している人たちです。

滞在中の最後の2日間、区大会において、私はデンマーク全土からのワイズ会員の会合の中にいました。巨大な会議場で千人を超える人々に囲まれて、ワイズの組織の大きさを実感しました。私もこのすばらしい運動体の一部なのだということを覚えました。

デンマーク訪問の経験は、どの1時間についても本の1章が書けるほどですが、最も印象的なのはランダースワイズメンズクラブがこの市の社会生活に深く活動的に関わっていることです。このクラブのような関わりや協力の仕方は、世界のどこの組織にとっても良いお手本となるものです。



ワイスメネット国際プロジェクト

国際プロジェクト・ジョーディネーター
ガーリ・ホルム

元来、タイム・オブ・ファースト・グローバル・プロジェクト「マタクシ YMCA - HIV エイズ認識プログラム・センター」は国際ワイスメネットが引き継いだものです。それはエイズの治療と指導、5,000 人を対象とする予防プログラムのためのセンターを作るインドでの建築プログラムです。

センターの建設は、水を供給する 15 メートルの井戸の完成を含めて順調に進んでいます。強化コンクリートの基礎、台座の角材の土台、高さ4メートルの強化コンクリートの柱が完成しました。強化コンクリートの工事と煉瓦の工事は3か月以内に完成する予定です。



その上、20 人のエイズ感染児童がプロジェクトの助けを受けます。その子供たちは 5 歳から 15 歳までの子供達です。彼らは両親がいない孤児、片親の子どもであるか、あるいは両親が HIV 陽性の子ども達です。その子たちの多くは身体に障害を持っており、情緒障害も持っています。その結果、多くのエイズ感染児童は持っている能力を十分に發揮することができないのです。



NGO の「HIV / エイズと共に生きる人々のケララ協議会」と協力して、委員会は職員の能力を向上させ、HIV とエイズに対する大衆の意識を高めるためにセミナーやトレーニングを行いました。

感染した児童を助けるのはやりがいのある仕事です。彼らは公の援助は僅かしか受けておらず子供達も両親も当然、栄養調査、教育、住居、保護、心理社会学的支援を含む広範な支援を必要としています。国際ワイスメネットはこのプロジェクトを支援することが出来ることを誇りに思います。

メネット、新しい家具で援助

マニラダウンタウンワイスメネット
ルシア・リー

フィリピン・ミッション・ミニストリーのホセ・リンホコ牧師から礼状が届きました。マニラダウンタウン・ワイスメネット・クラブが教会に単体椅子 152 脚、単体テーブル 30 卓を備える援助をして差し上げたことに対する礼状でした。



その椅子の増加は教会にとって貴重なもので、100 人以上の子供たちへの給食プログラム等様々なプログラムに使われることになります。それ以前は、子どもたちは毎日の休暇中のバイブルクラスや土曜のサイド・ウォーク・スクールのような活動の間、よごれないように米俵を薄く敷いた地面の上に座らなければなりませんでした。

女子のための教育

デバネ・ペレラ

ウェラワッテ・ワイズメンズ・クラブ／スリランカ

女子教育は、インド亜大陸では、主要な問題です。ほとんどのみなさんは、女子への教育求めて声を上げたために、タリバンから多くの銃弾を受けたマララ・ユスフザイさんという幼い少女について聞いたことがあります。



スリランカの状況は、それほど悪くはありません。しかし、貧困のため、男子への教育の方がより重視され、女子は上級学校へ進むよりも家計を補うために外に働きに出されます。

私たちのクラブは、1983年以來、ウェラワッテにある仏教団体が運営する「ランカダハラ女子・幼児ホーム」を支援して参りました。約25人の子供達が集うこの乳児施設のプレスクールを受け持っている先生に毎月8,000スリランカルピー(60米ドル)を支払っています。

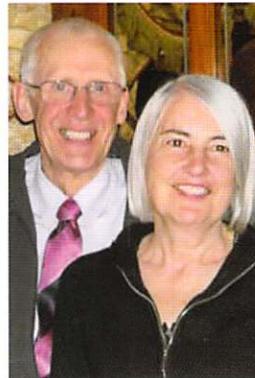
わがクラブは6歳～18歳までの70人の女子がいる「ガールズホーム」もサポートしています。毎年、4名の女子をこの5年間援助して来ました。少女たがいくらかでも音楽教育を受けることが出来るように楽器を提供しました。新品のコンピューター2台とプリンター2台と、それに使用する用紙を提供しました。18歳になり、ホームを出て、住居と仕事を見つけなければならない時に、コンピュータを駆使できるようにするためにです。

2010年までは、ガールズホームでは少女たちは高校1年までの基礎教育しか与えられず、料理、裁縫、ダンスなどが教えられていました。2011年にガールズホームの経営陣は平均以上の成績を上げている女の子を上の学級・高校2年クラスに行かせることに決定しました。HSBC(香港上海銀行)が彼女たちのスポンサーになりました。彼女たちは抜群の成績を上げました。経営陣は2013年と2014年には4名の少女たちを行かせることに決定しました。

そこで我がクラブが乗り出したのです。私たちは2014年9月まで毎月35,000スリランカルピー(270米ドル)を

支払って少女たちを支援しています。高校の卒業証書があればその少女たちは、社会に出て、職を見つけ、自活するためのよりよい備えが出来ることは言うまでもありません。もし彼女らがすば抜けた成績を挙げることが出来なければ、大学教育を受ける機会さえもあるかもしれません。

IBCへの献身の30年



マレー・スティーブンス氏は、40年以上にわたりバララット・Y・サービス・クラブ(オーストラリア)において、活動的なメンバーで、1983～85年間、IBC国際事務主任を務めました。

彼と妻、ヴァルさんは、その任期中、国際のブラザークラブ関係の記録をコンピューターで収集することを決めました。これはまだ、コンピューターがオフィスで使われておらず、マニアの間だけで使用されていた時代でした。

この国際の貴重な記録を解析して、活気あるパートナーシップの記録を元に新しい関係を築きました。彼は、この素晴らしい仕事を継続して、今年ブラザークラブの30周年の記録を作りました。IBCへの献身的な国際活動は、マレーさんのお陰です。

ありがとうございますマレーさん、おめでとうございます。マレーの活動は、国際のウェブサイトからPDFファイルでご覧いただけます。

**ワイズメンズワールド
2013/14年度 第1号**

発行者:ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 高瀬 稔彦(岩国みなみ)

東日本区理事 渡辺 喜代美(十勝)

国際編集長 Allan Wallington

日本語翻訳・編集責任者 中田靖泰(札幌)

編集委員 倉田正昭(京都)、谷川寛(大阪センテニアル)、谷本秀康(東広島)、

長尾ひろみ(宝塚)、青木一芳(千葉)、後藤邦夫(東京まちだ)、

村野繁(東京目黒)、今城高之(横浜つづき)、利根川恵子(川越)

印刷 株式会社三浦印刷所

ブラジルのおもてなし： 忘れられぬ想い出

ローレン・マックビース YEEP 学生(カナダ)

ローレン・マックニースは YEEP 学生として 1 年間 ブラジルを旅行しました(ユース教育交換プログラム)。彼女がその印象を語ってくれます。



ブラジルで私がどんなにブラジルが気に入っていたかを語り始めることさえできません。それは全く異なる文化、言語、経験でした。しかし、なぜか私はとても居心地がよかったです。私のホストファミリーは素晴らしい人たちでした。彼らは私に実の娘のように接してくれました。彼らが私にてくれたすべてのことを私はいつまでも忘れないでしょう。

学校は大変でした。毎週 13 科目とり、全部ポルトガル語でした。でも、学校に行って、皆や先生たち全部にお会いするのは楽しみでした。すべての人の間の関係は北アメリカとはとても違っています。

誰かが、学校なり、教会なり、お店なり、家なりに入った時、あなたはすべての人に頬にキスをされて、ハグされて挨拶されるのです。だれにでも全員に紹介されて、仲間に外れにされることなど決してありません。友人と洋服屋に何度か行ったのを思い出します。友人は私を店員に紹介してくれ、店員は私にキスしてハグしてくれて、すこしおしゃべりをしました。後で「友人に彼女とどこで知り合いになったの」と聞くと、友人は「先週あのお店に靴を買いに行った時応対してくれた人なの」とあっけらかんと言ったものでした。

ブラジル人は私が今まで会った中で最も親切で、最も愛情にあふれ、最も人を歓迎してくれる人たちです。ブラジル人のお蔭で自分の学校での見知らぬ人や仲間にに対する私の態度ははっきりと改善されたのでした。

STEP 旅行で語学力アップ

デミタール・クラステフ STEP 学生(ブルガリア)

ドイツへの 3 週間の STEP(ユース短期交流プログラム) は素晴らしい経験だったとお伝えできることをとても嬉しく思います。文化交流は双方にとってとても楽しく有益なものでした。例えば、ブルガリアでは「イエス」と言う時には首を横に振ります。でもドイツではそれは「ノー」の意味になります。それで、私たちは「ヤー」と「ナイン」というドイツ語を実際使わなければなりませんでした。大笑いました。

言葉が全く異なり、考え方も違う環境に入るということはとても難しいことになることもあります。しかし、私たちは英語とドイツ語の一種のバイリンガル・コミュニケーションを用いて意思疎通が出来ました。ホストマザーのエルフィー・ムシルは、私が学校でたった 2 年間しかドイツ語を習っていないのに、ほとんどすべて理解することが出来ると言つてくれました。2 週間後には、私はとても上手に意思疎通が出来、私はドイツ語を英語より上手に使えるようになりました。

私のホストの皆さん—ハンブルグのエルフィー・ムシル、アンジェリカとロタール・リープリング夫妻、ノルトハイム・クラブのロルフ、アイドルン・ハルチエ夫妻、皆さん本当に有難う。

学校の子供たちに昼食を振る舞うためにノルトハイムの YMCA に 3 度行きました。(ワイスメンのプロジェクトでした。) ハンブルグの YMCA でも幾度か午後を過ごしました。一度、貧しい人たちに(店からの) 食物を配るプロジェクトに参加しました。

一番後になりましたが、最も小さなことという訳ではありません。私のドイツ語は今ではもっと上手になりました。この旅行は私にとっては夢のようでした。ドイツの文化を知ることが出来、社会に深く関わることが出来てとても喜んでいます。

再びドイツを訪れる 것을楽しみにしています。

あなたは YEEP あるいは STEP の学生を受け入れることができますか?

このプログラムはあなたの助けを活かすことが出来ます。

STEP/YEEP 国際事業主任
リタ・ヘチアラチュチにメールして下さい。
< ritahetti@gmail.com >

変革を推進する基盤

ティナ・ロス・スタインスドチル
ユースインターン



ジュネーブにある国連事務局で開催された第24回人権委員会の通常セッションに参加して、幾つかの有意義なことに出会わしました。

まず、青少年の正義(juvenile justice)復興の委員会に出席しました。問題意識もなく経済状況も良いアイスランド出身の若い少女である私にとって、世界の残酷な出来事を聞くことは途方もないことであり恐怖におののきます。アイスランドでは警察でさえも銃を所持していませんし、両親がカフェで店の奥でお茶を飲んでいる間、乳母車に寝ている子供を乳母車に入れたまま外に放置するような国です。私はいつも、一歩前に足を踏み出し、世界の悪に挑戦する人を尊敬していました。でも、そのうちの一人に自分がなるなんて考えたのは、ごく最近です。つまり、前に述べた国連での会合に出席したことがきっかけでした。

ジェロルド・T・ボルマー氏(オーストリア国連派遣団第一書記)が一枚のパンフレットを手に持って振り回しながら「この素晴らしいYMCAの Youth Justice in Action運動について聞いたことがありますか」と言いました。もちろん、直ちに私の注意を引きました。「ここにYMCAの関係者がいるかどうかわからないけど」と言いました。私は飛び上がって「私です」と誇らしく言いたかったです。でも会が終わるまで我慢して Vollmer 氏に話しかけました。ボルマー氏は、YMCA 関係者と会えてとても嬉しい。YMCA が世界での活動に大変共感している、と言ってくださった時は、少し顔が赤くなり誇らしさの為に数センチ背が高くなった気分になりました。ボルマー氏が私と会えて興奮したなんて??

多くの人はどうしてお金にもならないのに YMCA に時間を費やすの、と私に尋ねます。変革について語るのは簡単だけど、一歩踏み出して変革を実行するのは難しいことです。でも、変革は可能です。劇的なことばかりが変革ではないから。「ヒトデの話」を聞いたことがありますか?

世界を一日で帰ることはできません。でも人生を一日、一ヶ月、いや一年で変えられないという意味ではありません。

私だけでなく、みんながワイズメン国際、またワイ運動を通して、変革をつくり出す基礎を与えられています。ワイズの運動を通して、世界中で、老若を問わず世界レベルの指導者を生み出してきました。特に、若者には変革をもたらす良い機会を与えてきました。

我々の多くは、どうしてYの運動に関わったり、ボランティアをするのという質問に対する答えを持っていますよね。お金に換えられない価値のあるものがあるからですよ。

ヒトデの物語

ある日、ある人が浜辺を歩いていました。すると、少年が何かを拾ってそれをそっと海に投げている光景を見ました。

少年に近づき、「何しているの」と聞きました。

すると少年は「ヒトデを海に返しているの。今日は波が高いんだ。そして潮が引いている。僕が海に投げてやらないと、ヒトデは死んじゃうよ」と答えました。

「坊や」とその人は言いました。「この海岸は何マイルも続いている、毎日、何百というヒトデが干上がって死んでいるのを知っているかい。君がやっていることは、無駄なことだよ」

礼儀正しく聞いていた少年は、また体をかがんで、また一つヒトデを拾い、海に投げ入れました。そして、その人に微笑んで、「でも、ぼくはあのヒトデにとっては、変革を起こしたよ」と言いました。

韓国に持ち帰るキー・メッセージ

オー・チャン・ロック 韓国エリア中央区理事



韓国のオー・チャン・ロック氏はBF代表としてラテンアメリカを訪問しました。かれは、旅行の感想、学んだ事、そして、ラテンアメリカと韓国のクラブの違いについて記しています。

私は、永く続いたクラブが、同年代の古いメンバーのみで成り立っていて、年齢構成や男女のバランスを欠き、最低限の15名のメンバーの確保にも苦しんでいるというのは、ワイスの世界では全てのエリアで共通の現象と思っていました。韓国ではその通りなのですが、ラテンアメリカのクラブは幸いな事に、若いメンバーを有しています。そして、韓国では珍しい事ですが、ほとんどのクラブが、男性メンバーと女性メンバーの混合です。

チリもペルーもボリビアもブラジルも大きな国で沢山の都市がありますが、クラブの数は多くはありません。ペルーでは、リマに5つのクラブがありますが、他の都市にはありません。YMCAがないからです。しかし、ジョージ・ウイリアムズ・プエブロ・リブレ・ワイズメンズクラブの若くアクティブなメンバーは、私に大きな印象を与えてくれました。

ボリビアのコカバンバ・ワイズメンズクラブのプロジェクトは素晴らしいものです。YMCAが無いにも拘らず、彼らは地域社会で大きな働きをしています。ブラジルには20のクラブがありますが、地域のYMCAとのパートナーシップは希薄な様です。チリやペルーでは、ワイズメンズクラブとYMCAの関係は良好で、若者と高齢の女性に向けての積極的なプログラムを開催しています。

私が、国際会長のポール・V・トムセンと語り合って強く刺激を受けたのは、デンマークにおける力強いワイズ運動は、数十年前に設立された多くのユースメンバー主体のクラブによってもたらされたという事です。ですから、私は、韓国に帰ったら、韓国中央区に、デンマークやラテンアメリカのように、より多くのユースメンバークラブを設立して、若者を惹きつけようと決心しています。また、私たちのネットが、クラブメンバーとなって我が区に於けるワイズ運動を強めてくれるよう望みたいと思います。

Y's Men's World
No 1 2013/14

EDITORIAL BOARD

Editor

James Olle

Y's Men International, Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205, Switzerland
Tel: +41 22 809 1532
email: <editor@ysmen.org>

Layout Support

Pauline Gross, Carol Lunt, Graham Walker & Mike Bendrey

Distribution arranged by

Philips K. Cherian
2398, 16 A Main, HAL II Stage
Indiranagar, Bangalore - 560 008, India
email: <philipsca@gmail.com>

Reprinted at

National Printing Press
No. 580, K.R. Garden
Koramangala
Bangalore - 560 095, India

ONLY FOR PRIVATE DISTRIBUTION TO MEMBERS

AFRICA Tunji Makinde P.O. Box 2106, Lagos, Nigeria email: <tunjimakinde@yahoo.com>	JAPAN Shigeru Murano 3-30-1 Eifuku, Suginami-ku Tokyo, 168-0064, Japan email: <muranoshi@lily.ocn.ne.jp>
CANADA & CARIBBEAN Thayne Jenkins 271 Notre Dame Street, Summerside PE, C1N 1R7, Canada email: <thaynejenkins@eastlink.ca>	KOREA Kim Han-gyu (Peter Kim) Zenith Apt 102-2602, Woo-dong 1407 Haeundae-gu, Busan 612-824 Republic of Korea email: <ysmenpusan@gmail.com>
EUROPE Arne Christensen Selandersvej 17 8920 Randers NV, Denmark email: <arch@wbspeed.dk>	LATIN AMERICA Silvya Reyes de Croci Charrua 2421, C.P. 11300 Montevideo, Uruguay email: silvyars3@gmail.com
INDIA Koshy Mathew 222 7C Main, 1st Block, HRBR Layout Kalyannagar Post, Bangalore, 560 043, India email: <koshyman@gmail.com>	SOUTH PACIFIC Bill Schmidt 15 Nandina Court, Strathdale, Vic., Australia 3550 email: william.schmidt2@bigpond.com
USA Fred Leonard 408 Cedarwood Drive Hot Springs, AR 71901-8122, USA email: <leonard@cablelynx.com>	